

事業者向け療育支援ルームボンデイ 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			プログラム内容によって、子ども達が集中できるように環境を設定を工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準配置は、守れている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			小さな段差はあるがほぼバリアフリー化されており、肢体不自由児の在籍もないため不便さはない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		毎日、毎月活動目標を振り返っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	新規事業所であるため、今後保護者向け評価表等を利用して改善を図っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	新規事業所であるため、今年度初めて行う。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価の実施はないが、面談時保護者等の意見を参考にし、活動提供を工夫している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修を行い、意見交換の場を設けた。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達支援の評価表や学校の評価表などを参考に、年2回の保護者との面談や日々の送迎時に情報収集するよう努め、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントシートを活用し、利用児の情報把握に努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員で毎月、月案会議を行いプログラムを検討している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			全職員で毎月、月案会議を行いプログラムについて振り返り、改善を図っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			その日の利用児の出欠状況や早下校、長期休暇など人数やサービス提供時間によって、プログラム内容を変更し状態にあったサービスを提供できるように努めている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			月案を作成し集団活動と課題に合わせたグループ活動、個別活動を実施している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日支援前に、1日の流れと体制、個別活動などの確認する時間を設けている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		時間の関係上、当日ではなく、次の日の支援前に振り返りと当日の支援の確認を毎日行っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日ケース記録や特記事項について記録に残し、翌日の振り返りの時間に検証・改善策を立て、支援にあたるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回のモニタリング面談を実施している。また、今年度の実施はないが、状況に応じて面談を行う旨を保護者に伝えている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインを基に、全体のプログラムを組み立て、併せて個別での対応も行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		担当職員、児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			基本的には、保護者を通して情報共有を行っている。また、学校の新任職員研修の受け入れをし学校教諭との情報共有の場も設けた。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケア児の受け入れはしていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	児童発達支援事業所とは、情報共有しながら、保護者を介して評価表等で児童の情報収集に努めている。保育所等に関しては、連携は難しく今後の改善点としている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	在籍している児童が、現在小学校低学年のため、まだ実施していない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	当事業所通所前の様子の情報共有は実施しているが、研修等は受けられていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今年度は、外出できる機会がなかったため交流はできていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	今年度は、連絡会などの実施はなかったため参加していない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時の会話や連絡ノートでの些細な言葉や悩みにも共感・助言するよう努めている。また、半年に1回のモニタリング面談では、時間をゆとりとすることで共通理解が深まるように心掛けている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	積極的にコミュニケーションを図ることで、悩みや困り事を言いやすくなるよう関係性作りを心掛けている。必要に応じて、相談事業所の担当職員にも情報共有している。ペアレントトレーニング支援については、まだできておらず今後企画をしていく。
保護者への説明書	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に契約書、重要事項説明書その他に基づいて、面談で丁寧に説明をしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の連絡ノートでのやりとりや、送迎時、面談時に家庭での様子や困りことがないか、聞き取り必要に応じて助言や支援をしている。

員 任 等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため実施することができていない。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		利用契約時に、苦情解決受付担当者、責任者の設置について説明をしている。 今年度、苦情は特になかった。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		定期的なお知らせを作成し、配布をしている。また、必要に応じてイベントに関しては別途お知らせを配布し情報をお伝えしている。
	㉓	個人情報に十分注意しているか		○		利用契約時に、個人情報の取り扱いに関する同意書、写真等使用許可の同意書を交わし、同意された範囲内で使用している。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		保護者の状況に配慮しながら、できる限り対面での会話を心掛けている。必要に応じて、書面やメール、電話を活用している。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため実施することができていない。
非 常 時 等 の 対 応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時対応マニュアルを策定している。利用契約時に、マニュアルを配布し保護者に周知している。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		避難訓練実施。 救命救急訓練については、全職員受講予定であったが新型コロナウイルスの関係で中止となってしまった。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		全職員向けに、年1回実施。チェックリストの実施と研修報告書の作成・提出を義務付けている。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		審議記録、やむを得ず身体拘束を行うことについて記載した書類を法人へ提出し、承諾を得ている。承諾を受けたものに関しては、個別支援計画への記載、緊急やむを得ない身体拘束等に関する説明書を用いて保護者に説明、サービス提供記録、ケース記録に記録を残すこととしている。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アセスメントで、保護者より情報収集している。調理実習等を行う際には、十分に配慮をしている。また、不安な場合はその都度保護者への報告を行い、指示を仰いでいる。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事例発生後、事業所内関係者で会議を行い再発防止策の検討、作成をしている。作成後は、職員の閲覧しやすいようにファイルにて保管、共有している。